

令和5年度
(2023年度)

渡日前入学許可制度による
私費外国人留学生入試
学生募集要項

秋田大学理工学部

新型コロナウイルスの感染状況によっては、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施する場合がありますので、秋田大学のウェブサイトで定期的に最新の情報を確認してください。

渡日前入学許可制度について

「渡日前入学許可制度」とは、日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」（日本国外にて受験したもの）の成績およびその他の出願書類（高等学校の成績，TOEFL等），により審査を行い，合格者の入学を許可する制度です。

この制度を利用すれば，受験者は日本で試験を受けることなく入学許可を得ることが可能となります。

入学志願者の個人情報保護について

本学では，提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し，また，入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが，これらの個人情報は，下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては，入学後の学籍管理，学習指導，学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

目 次

1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	入学時期	1
4	実施方法	1
5	入学者選抜の実施教科・科目等	2
6	出願手続	2
7	配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	5
8	合格者の発表	5
9	入学手続	6
10	渡日前入学試験に関する問い合わせ	6
11	ビザ（査証）の取得について	7
	入学後の外国人留学生用宿舎について	8
	理工学部理念・目的	9
	各学科・コースの概要	9
	教育制度の特徴	10
	理工学部および各学科・コースの求める学生像（アドミッション・ポリシー）	10

添付書類等

- ① 入学志願票・受験票・写真票
- ② 履歴書
- ③ 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書
- ④ あて名票
- ⑤ 出願書類提出用ラベル

1 募集人員

学 科	コース	募集人員
生命科学科	生命科学コース	若干名
物質科学科	応用化学コース	若干名
	材料理工学コース	若干名
数理・電気電子情報学科	数理科学コース	若干名
	電気電子工学コース	若干名
	人間情報工学コース	若干名
システムデザイン工学科	機械工学コース	若干名
	土木環境工学コース	若干名

2 出願資格

次の(1)から(4)のすべてに該当する者

- (1) 日本国籍を有さず、日本国内に居住しない者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（2023年3月31日までに修了見込みの者を含む。）またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCEA資格を有する者
 - ⑥ アメリカ合衆国のWASCまたはACSI、もしくはグレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国のCISから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者（2023年3月31日までに修了見込みの者を含む。）
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2022年度(令和4年度)日本留学試験(本学が指定する教科・科目)を受験した者
- (4) 出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者または取得できる者

3 入学時期

本入学試験に合格した者は2023年4月入学となります。

4 実施方法

書類等審査

入学者の選抜は、提出書類および日本留学試験(2022年6月実施の試験を利用)の結果を審査し、これをもって可否を判断します。

5 入学者選抜の実施教科・科目等

学 科	コース	日 本 留 学 試 験 の 利 用 科 目				
		日本語	総 合 科目	数 学	理 科	出 題 言語
生命科学科	生命科学コース	○	×	○ (コース2)	2科目 自由選択	自由 選択
物質科学科	応用化学コース				物理および化学	
	材料理工学コース					
数理・電気電子 情報学科	数理科学コース					
	電気電子工学コース					
	人間情報工学コース					
システムデザイン 工学科	機械工学コース					
	土木環境工学コース					

注1) ○は利用する科目，×は利用しない科目を表します。

2) 日本留学試験についての照会先

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

〒 153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 03-6407-7457

6 出願手続

(1) 出願期間 **2022年7月28日(木)～8月3日(水)(必着)**

(2) 出願方法

秋田大学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp/>) から出願書類をダウンロードし、所要事項を記入したうえで郵送してください。

郵送の際は「出願書類提出用ラベル」をダウンロードし、封筒に貼り付けて送付してください。

出願期間最終日必着とします。

送付先：1-1, Tegata Gakuen-machi Akita-shi 010-8502 Japan

Faculty of Engineering Science, Akita University

	支払銀行手数料 (Paying Bank' s Charge) 送金人負担 (Sender)
	<p>お願い ① 送金の際、送金目的(Purpose of Remittance)を入学検定料(Screening Fee)とし、必要連絡事項(Message to Payee, If any)に受験者本人の氏名(Applicant' s name)を必ず記入してください。</p> <p>② 検定料を送金した際には、その旨を秋田大学入試課までE-mail (nyushi@jim.u.akita-u.ac.jp)で連絡してください。</p> <p>※ 検定料が不足した場合は書類の不備となり、出願は受け付けません。この場合検定料は返金しますが、その際の手数料は出願者負担となります。</p>
④推 薦 書	在学(出身)学校長が作成し、厳封したもの。
⑤最終学校の卒業(修了)証明書および学業成績証明書	<p>最終学校の卒業(修了)証明書および学業成績証明書を提出してください。(写しは不可)</p> <p>卒業(修了)見込みの者は、7月4日(月)まで本学入試課へ連絡してください。</p> <p>なお、国際バカロレア資格取得者は同資格証書の写しおよび成績証明書を、アビトゥア資格取得者は一般的大学入学資格証明書の写しを、バカロレア資格(フランス共和国)取得者は同資格証書の写しおよび成績証明書を、GCEA資格取得者は同資格の成績評価証明書を提出してください。</p>
①日本留学試験の成績通知書の写し	独立行政法人日本学生支援機構が実施する2022年度の日本留学試験(第1回)受験票の写しを提出してください。
⑦TOEFL iBT®, 改訂版TOEFL®ペーパー版テストまたはTOEIC® Listening and Reading Testのスコアレポート	<p>TOEFL iBT®, 改訂版TOEFL®ペーパー版テストまたはTOEIC® Listening and Reading Testのスコアレポートを提出してください。</p> <p>[注意]</p> <ol style="list-style-type: none"> TOEFL iBT®, 改訂版TOEFL®ペーパー版テストまたはTOEIC® Listening and Reading Testのスコアレポートは、2021年12月以降に受験した自己最高点のもの(コピー不可)を提出してください。 TOEFL iBT®のスコアレポートをEducational Testing Serviceから直送する場合の秋田大学コードは、「7519」です。 それぞれのスコアレポートは発行までに時間がかかります。提出が遅れる場合は、出願を認めないことがあります。 TOEFL-ITP®, TOEIC® Listening and Reading IPテスト等による代用は認めません。 <p>TOEFL iBT®, 改訂版TOEFL®ペーパー版テストおよびTOEIC® Listening and Reading Testの詳細については、試験実施機関へ問い合わせてください。</p>
⑧履 歴 書	本学部所定の用紙に記入してください。
⑨あ て 名 票	本学部所定の用紙に、合格通知等を送付する住所・氏名を記入してください。
⑩パスポートの写し、本国の戸籍抄本または市民権等の証明書	パスポート(国籍を証明する部分)の写し、本国の戸籍抄本または市民権等の証明書のうちいずれか1つを提出してください。

○出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

○「11 ピザ(査証)の取得について」を確認のうえ、在留資格認定証明書の申請書類一式を出願書類等に同封して郵送してください。

(4) 出願にあたっての留意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合には、これを受理しません。
- ② 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ④ 理工学部の入学を認められた者は「留学」の在留資格を有している必要がありますので、2023年3月31日までに「留学」の在留資格を有していることの確認のできる書類、または「留学」の在留資格を申請していることの確認のできる書類の提出が必要になります。

(5) 受験票の送付について

提出された出願書類等を確認のうえ、受験票を送付します。2022年8月19日（金）までに当該コースから連絡が無く受験票が届かない場合は、必ず本学入試課（E-mail:nyushi@jimu.akita-u.ac.jp）まで問い合わせてください。

7 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本学部所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、2022年6月27日（月）まで本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨を本学入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 **秋田大学入試課**

電 話：018-889-2313(From overseas：Dial international prefix, then 81-18-889-2313)

E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

8 合格者の発表

選考結果を志願者全員にE-mailでお知らせします。

合格者には合格通知および入学手続書類を送付します。**電話による問い合わせには一切応じません。**

2022年11月1日(火) 発送（予定）

9 入学手続

(1) 入学手続期間 **2022年11月28日(月)から12月2日(金)まで (必着)**

(2) 入学手続方法

入学手続は、所定の期間内に入学料・学費等の振込および入学手続書類の提出を行うことにより完了します。

なお、入学手続の詳細については合格者に送付される「入学手続等について」で確認してください。

また、2023年3月中旬の入学関係書類提出期間付近はできるだけ日本国内に滞在するようにしてください。

本学入学にあたって、ビザ取得が必要な合格者に対して、入学料・学費等の振込を確認次第、本学が入学許可書を発行し、出願時に提出された他の在留資格認定証明書申請書類とともに法務省入国管理局へ代理申請を行います。(渡日前入学許可制度による入学者のみ)

(3) 納付金

① 入学料 282,000円 (予定額)

② 授業料 前期分 267,900円 (年間 535,800円) (予定額)

1) 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2) 納付された入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

3) 入学手続完了後、特別な事情により2023年3月31日(金)までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により、所定の手続のうえ、当該授業料相当額を返還します。

(4) その他

① 経済的理由により入学料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額、半額の免除または徴収猶予が認められる制度があります。詳細は入学手続書類送付時にお知らせします。

② 経済的理由により授業料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額、半額、3分の1の免除または徴収猶予が認められる制度があります。詳細は入学手続書類送付時にお知らせします。

③ 提出書類等、詳細については、合格者に送付する入学手続案内によりお知らせします。

④ 入学手続以外の入学関係書類は2023年1月下旬(予定)に送付します。

(5) 留意事項

① 合格者が所定の期日までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

② 複数の大学に入学することは認められていません。本学に合格した者が、他の大学等へ入学しようとする場合は、直ちに下記秋田大学入試課に連絡願います。

10 渡日前入学試験に関する問い合わせ

出願その他渡日前入学試験に関して問い合わせる場合は、下記E-mailへ質問内容を送信してください。

E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp 秋田大学入試課

11 ビザ（査証）の取得について

留学を目的として日本に入国する場合、事前に「ビザ（査証）」の発給を受けなければなりません。ビザを取得するためにはまず、日本の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」の交付を申請する必要があります。渡日前入学試験制度で本学の入学選考に合格し、所定の入学手続を完了して入学が決定した方を対象に、秋田大学ではご本人からの依頼により、「在留資格認定証明書」取得のための代理申請を行っています。「在留資格認定証明書」が交付されたら、秋田大学から入学予定者の住所へ「在留資格認定証明書」を国際便で送付します。「在留資格認定証明書」を受領したら、パスポート等その他必要書類を揃えて、自国の日本国大使館または領事館でビザを申請することができます。

ビザ取得までの手順

① 「入学許可書」受領後、秋田大学国際課（以下、国際課という。）へメールにて連絡（申請者→国際課）

*メールアドレス：ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp（国際課）

*メールの件名は「在留資格認定証明書交付申請」とし、本文に申請者の氏名、入学予定年月、入学予定の学部学科名を記入すること。

② 在留資格認定証明書の交付申請手続きに必要な書類のご案内（国際課→申請者）

③ 在留資格認定証明書の交付申請手続きに必要な書類の提出（申請者→国際課）

④ 在留資格認定証明書の交付申請（国際課→仙台出入国在留管理局）

⑤ 在留資格認定証明書の交付（仙台出入国在留管理局→国際課）

⑥ 在留資格認定証明書の送付（国際課→申請者）

申請者自国でのビザ申請・取得（申請者→日本国大使館また領事館）

注意事項

a) ビザにはいくつかの種類があり、来日理由、身分、地位によって在留資格が決定されます。外国人留学生在が日本の大学で学ぶ場合に適用されるのは「留学」です。

b) 手続きには時間がかかるので、入学が決まったらすぐに国際課に連絡してください。「在留資格認定証明書」の申請から交付まで6～7週間程度かかります。また、発行された証明書を申請者に国際便で送るのに数日～1ヶ月かかります。さらに、ビザの申請から発給までは数日～1ヶ月程度かかります。

c) やむを得ない事情により入学を辞退する場合、申請者は直ちに在留資格認定証明書に辞退理由を明記した文書を添付して国際課に返送してください。

○在留資格認定証明書についての問い合わせ先

秋田大学国際課留学生交流・支援担当

電話：+81-18-889-2258

E-mail：ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

入学後の外国人留学生用宿舎について

本学には、下記の外国人留学生用宿舎があります。

*入居を希望する場合は、合格・不合格にかかわらず、あらかじめ申し込んでください。

外国人留学生用宿舎に関する問い合わせ・書類の送付先

1) 留学生会館・国際交流会館

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 秋田大学国際課

電話 +81-18-889-2258

E-mail ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

2) 西谷地寮（男子限定）

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 秋田大学学生支援・就職課

電話 +81-18-889-2240

E-mail g-kikaku@jimu.akita-u.ac.jp

理工学部理念・目的

理工学部は、世界的ニーズが明確で発展の著しい、理学と工学が融合した理工学を教育研究分野の中心に据え、更に理学・数学から工学に至る幅広い教育学分野を包括する地域の教育拠点を構築します。学部教育において、理系基礎科目の理解増進による論理的に考える力に加えて、英語と実践教育科目の強化により、グローバル社会で即戦力として活躍する人材を育成することが理工学部の理念です。これにより理学・数学から理工学、工学の多面的な学問分野で、身につけた深い基礎学力と新しい発想によって新時代の諸課題にたくましく取り組む人材を育成することを目的とします。

各学科・コースの概要

【生命科学科】

生命科学科は、生体分子の構造と生理機能、生体分子の相互作用から種々の生体情報伝達を含めた生命現象を包括的に理解するとともに、生命倫理を遵守し、生命の基本原理を追求・発見し、広範で深い知識と解析能力を養い、独創性の高い研究を自ら遂行できる研究者・高度技術者を育成します。

①生命科学コース

生命科学コースは、分子・細胞レベルから個体レベルに至るまで、生命現象の分子機構の解明、疾患原因遺伝子や原因タンパク質の解明、分子探索等、基礎研究に重点を置いて教育研究を推進します。また、生命科学分野の専門教育に加えて、生命倫理を遵守し、独創的発想の出来る研究者や技術者の育成、英語力を身につけた人材の育成に力を注ぎます。

【物質科学科】

エネルギー、環境技術および元素戦略を基軸とする新機能性材料ならびに高度生産技術の開発研究における応用化学や材料理工学を基盤とした物質科学が果たす役割はかつてないほど高まっています。こうした社会の要請に応えるためには、基礎科学の知識を結集して革新的材料や新化学プロセス技術の創製を目指す学問分野を切り開いていく必要があります。そこで設立されたのが、応用化学と材料理工学を融合した新しい教育研究体制としての物質科学科です。

①応用化学コース

応用化学コースでは、原子や分子レベルで様々な現象を解明することから始まり、人類の生活を豊かにする新しい機能性物質の設計と合成、生物機能を利用した未来型反応・生産プロセスの開発、さらには、自然環境を守り、エネルギーを有効利用するための技術とプロセスの研究開発を推進します。

②材料理工学コース

材料理工学コースでは、材料開発の基礎を担うマテリアル創成科学講座と応用を担うマテリアル機能講座の2つの大講座から構成され、金属、セラミックス、半導体などを中心に、高機能センサー、高密度情報記録媒体、光機能材料、エネルギー材料、力学機能材料などの先端材料や元素代替材料の研究開発を推進します。

【数理・電気電子情報学科】

数学、物理、計算機科学の基礎から、電気・電子・情報通信の最先端技術まで、広範な分野で活躍できる多彩な人材を養成します。そのため、自然科学の基礎である数学・物理学を学び論理的思考法を修養し科学技術に必須の計算機科学と情報通信理論を身につける数理科学コース、今日の産業・社会基盤に不可欠な電気エネルギー・エレクトロニクス・情報通信・制御システムにおいて高度な技術開発力を修得できる電気電子工学コース、医療・福祉・環境・防災減災のためにヒトとコンピュータが協調するヒューマンコンピュータインタラクションを実現する人間情報工学コース、これら3コースを設定し、教育研究を行います。

①数理科学コース

数理科学コースでは、少人数教育と演習を重視した双方向教育を実践して数学・理論物理学・計算機科学を学び、創造的な発想を持ち地域の再生を志す数理科学の専門家や高校教員（数学）の人材育成を目指します。

②電気電子工学コース

電気電子工学コースでは、電気エネルギーの効率的な発生・輸送と利用、光・電子デバイスの開発設計・製造、高度コミュニケーション社会の基盤技術となる情報通信技術の開発、効率的な制御システムの開発設計・製造など、電気電子工学を通じて国や地域に貢献できる人材養成を目指します。

③人間情報工学コース

人間情報工学コースでは、ヒトとコンピュータに関する教育研究を通じ、少子高齢化などにより大きく変わろうとしている国や地域に、高度なセンシング技術と情報通信技術の利活用により貢献できる人材養成を目指します。

【システムデザイン工学科】

システムデザイン工学科では、地球環境から地域・生活環境に至る幅広い領域において、ナノ材料から大型構造物、さらには都市システムまでを対象とし、機械、社会基盤などのシステムをはじめ、様々な領域に渡る技術・知・「もの」からなる創造生産システムを、横断的かつ創造的にデザインするための教育研究を行います。

①機械工学コース

機械工学の基礎知識を有し、現代社会に重要な輸送機械の電動化、医療福祉工学、環境にやさしい機械工学の3つの特徴ある分野の知見を備え、応用力、協調性、自立性、プロジェクト遂行能力を併せ持つ将来の機械技術者を育成します。

②土木環境工学コース

環境構造工学、環境材料工学、地盤環境工学、水環境工学、福祉環境工学の5研究分野体制のもと、社会基盤の計画・設計・施工・維持・管理のために土木環境工学の基礎学力を備え、自然現象や社会現象を理解する能力や多様な情報を収集・分析し、社会の要請を多面的にとらえる能力を身につけ、環境や福祉に配慮できる土木技術者を育成します。

教育制度の特徴

今日の理工学分野においては、国際的にもまた地域社会においてもその課題が多様化し、解決のための技術も高度化していることから、学際分野も含めた総合的な視野に基づく、先進的かつ独創的な学術研究を行う人材が必要とされています。

本学部では、理工学の各分野で必要な数学、理科（物理、化学、生物）を主に低学年で徹底理解させる教育カリキュラムを編成して特定の専門分野に偏らない幅広い学習を可能とし、高学年および大学院において、それぞれの専門分野における「6年一貫教育」を理想とした先端工学教育を実践します。これにより、社会の要請を理解し、専門知識を活かしながら論理的思考に基づき自ら課題を発見・解決できる力を身につけた人材の養成を行うことが可能となります。

理工学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

[生命科学科]

《生命科学コース》

●求める人物像

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物の学力と国語（日本語）や英語などの語学能力の高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

●入学者選抜の基本方針

生命学分野に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、提出書類および日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

[物質科学科]

《応用化学コース》

●求める人物像

1. 化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
3. 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

理学や工学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、提出書類および日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《材料工学コース》

●求める人物像

1. 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 発展する科学技術の基礎となる様々な「材料」の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

●入学者選抜の基本方針

理学や工学に意欲的に取り組み、国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、提出書類および日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

[数理・電気電子情報学科]

《数理科学コース》

●求める人物像

1. 数学，物理学，計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学選抜の基本方針

数学，物理学，計算機科学に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な科学者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，提出書類および日本留学試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《電気電子工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで，ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 環境に調和した電気エネルギー，創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信や医療機器，社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学選抜の基本方針

電気電子工学に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，提出書類および日本留学試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《人間情報工学コース》

●求める人物像

1. 感性が豊かで，論理的思考に習熟し，対象を広く，また深く理解しようとする人
2. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報技術に興味がある人
3. 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す，意欲のある人

●入学選抜の基本方針

理数系の学問に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，提出書類および日本留学試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

[システムデザイン工学科]

《機械工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで学習意欲があり，工学の基礎学力を高めたい人
2. 設計，力学，制御を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 輸送機械の電動化，医療福祉工学，環境にやさしい機械工学の3分野のいずれかに興味を持ち，深く学びたい人

●入学選抜の基本方針

機械工学に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，提出書類および日本留学試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《土木環境工学コース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同一レベルの十分な基礎学力を持ち，本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し，工学や自然科学に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため、提出書類および日本留学試験で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

令和5年度秋田大学工学部入学志願票

【渡日前私費外国人留学生入試】

記入は黒のインクまたはボールペンを使用し、※印の欄は記入しないでください。

志 望 コ ー ス	コース	受 験 番 号	※
ふ り が な アルファベット表記			写真貼付 (4cm × 3cm) 写真の裏に、志望する 学科・コースと氏名を 記入の上、しっかりと 貼ってください。
氏 名			
生 年 月 日 別 性	年 月 日	男 ・ 女	
国 籍			
出 願 資 格	最終学校 所在地	学 校 名	
	卒 業 (修 了) 年 月 日	年 月 日	卒業 (見込み) ・ 修了 (見込み)
	国際バカロレア資格取得 (見込み) 年月		年 月
	アビトゥア資格取得 (見込み) 年月		年 月
	バカロレア資格(フランス共和国)取得(見込み) 年月		年 月
	GCEA資格取得年月		年 月
日 本 留 学 試 験	2022年 6月 実施試験 受験番号 (* *)		
TOEFLまたはTOEIC のスコア	受験した試験の名称	受験した年月	ス コ ア
		年 月	
現 住 所 等	(郵便番号) 電話 () - () - () Mail address :		

●

令和5年度秋田大学工学部受験票

(渡日前私費外国人留学生入試)

受験※ 番号	
ふりがな ----- 氏名	
性別	男 ・ 女
志望コース	コース

注 ※印の欄は記入しないでください。

問い合わせ先

秋田大学 入試課

E-mail:nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

----- 切り離さないでください -----

● ●

令和5年度秋田大学工学部写真票

(渡日前私費外国人留学生入試)

受験※ 番号	
ふりがな ----- 氏名	
性別	男 ・ 女
志望 コース	コース

写真貼付
(4cm × 3cm)

写真の裏に、志望する学科・コース氏名を記入の上、しっかりと貼ってください。

注 ※印の欄は記入しないでください。

履 歴 書

〈渡日前私費外国人留学生入試用〉

ふりがな		生年月日	年 月 日
氏 名		性 別	男 ・ 女
		国 籍	

学 歴

ク ラ ス	学校名・学校所在国名	修業年限	入 学 年 月 日	卒業(修了)年月日
初 等 教 育 (小学校)		年	年 月 日	年 月 日
中 等 教 育 (中学校および高等学校)		年	年 月 日	年 月 日
		年	年 月 日	年 月 日
高 等 教 育 (大学等)		年	年 月 日	年 月 日
		年	年 月 日	年 月 日
以上を通算した学校教育の年数		年	—————	—————

〔 特記事項（飛び級または繰り上げ卒業等） 〕

日本語の学習歴

学 習 期 間	学 習 方 法
～	
～	
～	
～	

※学習方法の欄には、学習機関で学習したか、独学で学習したかを記入してください。

職 歴 等

勤 務 先 の 名 称	勤 務 先 所 在 地	勤 務 期 間
		～
		～
		～
		～

- 注1) 「ふりがな」の欄は、漢字氏名の者はアルファベット表記で記入してください。
 2) 学歴は、在籍した学校をすべて記入してください。
 3) 「飛び級」や「繰り上げ卒業」等の事実があれば特記事項の欄に記入してください。
 4) 初等教育には、幼稚園および保育所は含みません。
 5) 「日本語の学習歴」および「職歴等」の欄は、該当者のみ記入してください。

受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書

令和 年 月 日

志望コース	コース	
氏名 (年齢)	(歳)	
連絡先	〒 -	電話 - -
障害等の種類・程度 <p style="text-align: center;">※医師の診断書等障害の状況がわかるものを必ず添付してください。</p>		
受験上希望する配慮の内容		
修学上希望する配慮の内容 <p style="text-align: center;">※入学が確定した後、学生サポートルームから相談内容について連絡する場合があります。</p>		
出身学校等で取られていた特別措置		
日常生活の状況		
出身学校等	学校名等	〒 -
	所在地及び電話番号	

あ て 名 票

①	(住所) _____	

	※ 受 験 番 号	

	(氏名) _____ 様	
②	※ 受 験 番 号	(ふ り が な) 氏 名
	_____	_____

注1) ※受験番号は、記入しないでください。

2) 住所は、合格通知書の受信場所を記入してください。

Air Mail**1-1, Tegata Gakuen-machi
Akita-shi 010-8502 Japan****Faculty of Engineering Science,
Akita University****入学志願票等在中**

渡日前私費外国人留学生入試	
受験番号	※
志望コース	コース
志願者	住所 電話 () - () - ()
	ふりがな 氏名
出身学校名	電話 () - () - ()

太枠内すべてを記入し、封筒に貼り付けて送付してください。

- 出願にあたっては、次の書類等を確認し、封筒に入れて送付してください。

*** 提出期限** 2022年 8月 3日（水）必着

渡日前私費外国人留学生入試

	出 願 書 類 等	チェック欄
1	入学志願票【渡日前私費外国人留学生入試】	
2	受験票・写真票	
3	外国送金依頼書のコピー	
4	推薦書	
5	最終学校の卒業（修了）証明書および 学業成績証明書	
6	2022年度日本留学試験の受験票の写し	
7	TOEFLまたはTOEICのスコアレポート	
8	履歴書〈渡日前私費外国人留学生入試用〉	
9	あて名票	
10	パスポートの写し、本国の戸籍抄本または 市民権等の証明書	